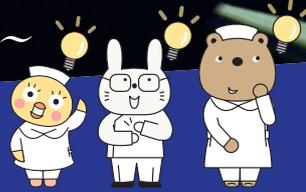




講座コード
R-255

急性期の アセスメントを極める

～データ解説難症例を読み解く“AZAMI's Eye”～



日時: 2024年12月1日(日) 10:00~16:00
会場: インターネット生中継セミナー 見逃し受講期間2週間あり
講師: 薊 隆文 先生(蒲郡市民病院) ※永久保存版PDFスライド付
対象: 看護師・PT・OT・ST(左記以外でも受講可)
受講料: 会員 9,800円(税込) 一般 12,800円(税込) **新入会 会員無料**

パラメータがアウ値だったらすぐに「離床中止」と諦めていませんか？

急性期患者さんの離床に重要なパラメータの“アウ値”は覚えてけれど、アウ値に遭遇した途端、離床を諦めていませんか？
実はそれでは離床のチャンスを逃して、患者さんの回復が遠のいているかも・・・この講座では、血液データ・呼吸・循環パラメータ・電解質異常など、アウ値や解釈に悩むデータを持つ症例を、百戦錬磨のDr薊先生がどう診て離床の判断につなげるのかを解説。病態に応じた急性期のアセスメントポイントを学び、明日から使える活きた知識を習得できます。



アウ値でも離床を諦めない！ 組み合わせでみる超臨床的評価を習得しよう



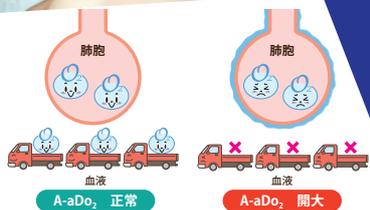
臨床で困る10の難解パターン
1つでも「？」がいたら本講座の適応有

- PaO₂ が正常値ならば肺は常に正常といえる？
- 重症肺炎 80% O₂ で SpO₂ 100%、50% O₂ で SpO₂ 90% どちらで維持するのが良い？
- SpO₂ 100%から93%に低下もPaO₂ 150 torr、SpO₂ だけ低いのはなぜ？
- 血圧が低い患者さんに輸液をして、血圧が上がる人と上がらない人がいるのはなぜ？
- 高血圧性心不全患者さん BP 70/45 mmHg 普段は血圧高いが今は低い、どうするべき？
- 心不全の既往なし。BP 70/50 mmHg 輸液負荷・昇圧剤追加も反応が悪いのはなぜ？
- 術中出血でヘモグロビン値2.0g/dLまで低下。どこまで回復すれば離床できる？
- 絶食による電解質の不足により 低カリウム血症から代謝性アルカローシスに、なぜ？
- WBC 19000/μL、Na130 mEq/L 腹部に強い痛みあり。他にみるべきパラメータは？
- 意識障害あり。BUN 78 mg/dL、Cre 5mg/dL、K7.5mEq/L、Mg128mg/dL 考えられるリスクは？

【本講座で“深掘り”するパラメータ】

- 所見のギャップから異常を察知する 呼吸・循環フィジカルアセスメント
- パターン別にみる 電解質異常
- 間違い探しでみる 血液ガスデータ
- データの動きでここまで 治療が変わる! 血液生化学データ
- 設定変更時はここをみる! 酸素療法・人工呼吸器パラメータ
- ショックの前触れを見抜く 急性期の循環機器データ

※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論1単位・更新10ポイントを取得できます。



申込方法 **日本離床学会** 検索

お問い合わせ・お申込先

ホームページよりオンライン登録

臨床を元気に! **日本離床学会**

〒102-0073

東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>

